

薬連ハイライム

第2回 総務会開催される！

令和4年5月23日（月）午前10時半より、AP日本橋6F「F・G」に於いて第2回総務会が開催された。

岩本幹事長司会の下、山本会長の挨拶に続き、山本会長が議長となり、次第に従い担当役員から会務報告、次期参議院議員選挙の件、活動報告、支援者名簿の入力状況、5月20日の事務所開き報告、選挙はがきについて、5月21日神谷まさゆき決起大会 in 東三河の報告、6月11日東海ブロック神谷まさゆき総決起大会について報告された。更に午後からの薬剤師首長・地方議員意見交換会について説明があり、続いて直近の政治課題について資料を基に説明、5月20日の新型コロナウイルス感染症対応に関する有識者会議ヒアリングの報告があった。

令和4年度薬剤師首長・地方議員意見交換会開催される!!

第2回総務会に引き続きAP日本橋6F「A・B・C」

に於いて午後1時より、令和4年度薬剤師首長・地方議員意見交換会が44名の薬剤師議員の参加と32名の役員、3名の国会議員の出席で開催された。

原口常任総務司会の下、山本会長の挨拶に続き、藤井基之参議院議員、逢坂誠二衆議院議員、本田顕子参議院議員より、党派を超えた激励の言葉を頂いた。

次に日本薬剤師連盟の現状報告について岩本幹事長、直近の政治課題について石井副会長より報告がなされ、神谷まさゆき副会長から力強い挨拶があった。

次に出席された首長・地方議員からの報告とご意見を頂いた。政治は数が大切、敷地内薬局の問題、配偶者の許可が必要な中絶の問題、入国者の医療費の問題、学校薬剤師の給与について、国家試験の不合格の問題、薬剤師の質向上、薬事コーディネーターとして薬剤師を災害現場に、薬の供給不足は卸の問題ではないので根本的な解決を等々、沢山の問題を提起して頂いた。

もとゆき便り

令和4年度補正予算

参議院自由民主党政策審議会議長
参議院議員・薬剤師
藤井 もとゆき



令和4年度補正予算は5月31日の参議院本会議にて可決、成立しました。補正予算では原油や穀物等の価格や供給が不安定な状況において、今後の新型コロナウイルス感染症の再拡大や原油価格、物価の更なる高騰等による予期せぬ財政需要に迅速に対応するため、原油価格高騰対策に係る経費及び新型コロナウイルス感染症対策予備費等、約2兆7千億円を計上しています。

また、政府は「経済財政運営と改革の基本方針2022」（いわゆる骨太の方針2022）を6月7日に閣議決定しました。

本方針では、新型コロナウイルス感染症対策について、医療提供体制の強化を進め、1日も早い経済社会活動の正常化を目指すと共に、これまでの新型コロナウイルス感染症対応を客観的に評価し、次の感染症危機に備えて、本年6月を目途に中長期的観点から必要な対応を取りまとめるとしています。

この他、オンライン資格確認について、保険医療機関・薬局に、2023年4月から導入を原則として義務付けると共に、患者によるマイナンバーカードの保険証利用が進むよう支援等の措置を見直すことも記されています。

国会議員としての任期も僅かとなりました。後継の神谷政幸さんに確実にバトンを渡せるよう、最後の大切な役割を果たさなければと思います。

オレンジ日記

薬剤師の窓口として

自由民主党副幹事長・女性局長代理
参議院議員・薬剤師
本田 顕子



5月17日、私は参議院厚生労働委員会の質疑で「敷地内薬局」を取り上げました。

敷地内薬局については、令和2年11月の厚生労働委員会でも質問を行っており、日本薬剤師会では令和3年5月、厚生大臣に要望書を提出しておりますが、有効な対策が講じられぬまま、事態は黙認され、民間病院までその影響が広がっています。このため再度、政府の対策を確認すべく質問を行いました。

その際、なぜ、経済的にも機能的にも独立していることが必須となるのかを、私は医薬分業の本旨として「処方箋を交付する医療機関から独立した薬局において薬剤師により調剤を行うことが患者の薬物療法をより安全でより効率的にするための人類の英知である」と伝えました。

そして、医薬分業の起源と言われている、約780年前のプロイセンの王、フリードリッヒ2世による5カ条の法律の制定について、また、薬を調剤する権利証書の薬剤師への交付式の絵が沖縄県薬剤師会館に飾られていることにも触れさせていただきました。

古賀副大臣からは、敷地内薬局については本年度の診療報酬で対応したこと、今後、厚生省のワーキンググループにおいて課題整理等を行うとの答弁を頂きました。

今後とも薬剤師の先生方の身近な窓口として頑張ってお参りますので、引き続きご支援をよろしくお願い申し上げます。